

北米 ブルーベリーのシーズンはメキシコ産から米国産へ

[FreshPlaza 2025年5月5日](#)

メキシコ産ブルーベリーの出荷シーズンは、今後4～6週間で終了に近づく。プロデュースラヴァーズ社のジェラルド・ロペス氏は、「一部の生産者はピークを過ぎた品種の剪定を既に開始しており、剪定は6月中旬まで行われる」と述べ、今シーズンはメキシコ産の果実が少なく、需要は非常に堅調であったと付け加えた。

これは、ブルーベリーの栽培条件が良好であったシーズンを受けたものである。天気が良く、冬は霜が降りず、春は涼しかった。このことが、果実が急速に成熟しないように成長を管理するのを助け、最終的にサイズが良く品質の優れた果実を生産することができた。メキシコでは一年中ブルーベリーが出荷されているが、輸出は通常6月末までに終了し、市場の状況によっては6月中旬にも終了する。メキシコからのブルーベリーの輸出は、9月上旬に再開される。

米国産ブルーベリーのシーズン開始 今後については、米国産ブルーベリーの出荷がジョージア州で進んでいる。ロペス氏は、「ジョージア州の生産者と同州産果実の販売業者が適切に対応すれば、ブルーベリーの販売を促進する堅調な需要を確保できたはずだ。しかし、ジョージア州では出荷の立ち上がりが緩慢であった」と話す。価格については、通常4月末に市場が軟化するが、今シーズンは5月の初めにそれが見られた。同氏は、「ジョージア州の供給がピークに達するため、市場価格は来週から下がると思う」と言う。

一方、メキシコの生産者達は、次のブルーベリーシーズンに向けて既に準備を進めている。ロペス氏は、「我々は、他の一部の品種からマデイラ、アズラ、ポップ等のプレミアム品種にシフトしている。他の品種も良いのだが、需要はこれらの品種にシフトしている」と話す。

執筆者：アストリッド・ファン・デン・ブローク

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

エジプト 早生ブドウは早期出荷と消費者志向への対応に注力

[FreshPlaza 2025年5月6日](#)

エジプトでは生食用ブドウの早生品種の出荷シーズンは5月に始まる。アブデルカデル・ハボニー氏は、今シーズンは成功が約束されているとして、「生産者は、早期の供給と高い品質を確保する栽培方法と、消費者の嗜好への適応を組み合わせ、市場の状況をうまく活用することができた」と話す。(以下「」は同氏の話)

ハボニー氏によると、今シーズンのエジプトの生産者の品種選択は、消費者の嗜好を重視している。「エジプトには栽培可能な品種が数多くある。また、北半球産のブドウがあまりない早い時期に出荷シーズンが始まるという利点がある。必要なのは、早期出荷の成功と消費者の嗜好への対応のバランスが取れた品種に注力することであった。消費者は、何よりもしっかりとした感触で甘い味の種なし品種を好むことがわかった。」

「そのため、シーズンの初めには、アーリースイート、スぺリア、フレイムシードレスなどの品種に力を入れた。幸いなことに、今シーズンの品質は顧客の期待に応えられそうだ。天候要因による難しさもあったが、最適な灌漑や制御された環境での生産など、高度な農業を実践したおかげで、収量と品質、中でも消費者が求めるブドウの硬さと糖度の安定性を向上させることができた。」

ハボニー氏によると、シーズン後半には、既に市場のチャンピオンとなっている品種の出番となる。「晩生品種は、クリムゾンシードレスをはじめ、市場で最も人気の高い品種が多い。今シーズンは、レッドグローブ、キングルビー、ブラックマジックにも力を入れることとした。晩生品種は砂漠土壌の開拓農地で栽培されることが多く、その結果、強度、硬さと甘い風味のあるブドウになる。」

この生産者は次のように結論付けている：「生食用ブドウは間違いなく最も重要なエジプト産果実の1つであり、生産から梱包、物流サポートまで優先的に扱われる。弊社のグループでは、何十年にもわたって生産の経験を蓄積し、市場での高い評価を築き上げてきた。この評価は、最高の品質を追求し、透明性と互いの成功に基づく長期的なパートナーシップに焦点を当てることで獲得したものである。」

執筆者：ユーネス・ベンサイド(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)